

消防活動に関する相互応援協定（大阪国際空港）

大阪国際空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	関西エアポート株式会社、伊丹市、豊中市、池田市
一般消防相互応援協定	豊中市、池田市、箕面市、吹田市、大阪市、伊丹市、尼崎市、川西市
名神高速道路における消防相互応援協定	豊中市、尼崎市、西宮市、茨木市
中国縦貫自動車道路（茨木市〔J 1203.4〕から宝塚 I C 間）における相互応援協定	豊中市、茨木市、吹田市、池田市、川西市、伊丹市、宝塚市
航空機等の災害相互応援に関する協定	池田市、大阪市、伊丹市
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定（注）	大阪市、豊中市、池田市、堺市、東大阪市、吹田市、八尾市、松原市、高石市、大阪南消防組合、尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市
大阪府下広域消防相互応援協定	43 市町（24 消防本部）

（注）空港以外の地域においての異常事態又は災害発生時の連絡体制等について協定している。

医療救護に関する協定（大阪国際空港）

大阪国際空港救急医療活動に関する協定	関西エアポート株式会社、豊中市医師会、池田市医師会、伊丹市医師会
大阪国際空港応急救護活動に関する協定	関西エアポート株式会社、日本赤十字社大阪府支部
	関西エアポート株式会社、日本赤十字社兵庫県支部

消防資機材等保有状況(大阪国際空港)

1 関西エアポート株式会社

車両の種別等	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火薬剤 積載量(ℓ)	粉末消火薬剤 積載量(kg)	放射能力水・ 薬剤/分(ℓ)	備 考
化学消防車	3	10,700	660	300	5,200	空港用大型
給水車	1	8,000	240		3,000	
医療資機材搬送車	1					
照明車	1					
指揮車	1					
連絡車	1					
排水ポンプ車	1					30m ³

化学消火薬剤	数 量	備 考
A B C 剤	2,700kg	
水性膜泡 (薬剤庫に保管)	3,790ℓ	3%

消防水利施設	形 式	数 量	構 造	設 置 場 所
消 火 栓	地 上 式	32	吐水2口 内径2.5インチ	制限区域内 6 制限区域外 26
	地 下 式	22	吐水2口 内径2.5インチ	制限区域内 16 制限区域外 6
貯 水 槽	地 下 式	1	RC造り 80m ³ 吸水2口	消防庁舎横
		16	RC造り 40m ³ 吸水2口	A R/W ・ B R/W

2 池田市消防本部

車両の種別等	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火薬剤 積載量(ℓ)	粉末消火薬剤 積載量(kg)	放射能力水・ 薬剤/分(ℓ)	備 考
化学消防車	1	1,500	500		2,000	
ポンプ車	13					
救助工作車	1					
救急車	6					
はしご車	1					
水槽車	1	10,000				
指揮車	1					

化学消火薬剤	数 量	備 考
たん白泡	0ℓ	消防本部に備蓄 車両積載分を含む。
界面活性剤	580ℓ	
水成膜泡	1000ℓ	

消防水利施設	形 式	数 量	構 造	設 置 場 所
消 火 栓		58	φ 150mm以上	空港の敷地境界線から500m以内
貯 水 槽		17	40m ³ 以上	空港の敷地境界線から500m以内

3 豊中市消防局

車両の種別等	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火薬剤 積載量(ℓ)	粉末消火薬剤 積載量(kg)	放射能力水・ 薬剤 / 分(ℓ)	備 考
化学消防車	1	1,000	300		1,200	
	2	1,300	500		1,200	
タンク車	3	1,500				
	3					
	2	600				
ポンプ車	10	800				
救助工作車	2					
救急車	17					
水槽車	1	3,900				
はしご車	3					
指揮車	1					
小型動力ポンプ	20					
その他	40					

化学消火薬剤	数 量	備 考
界面活性剤	3,120ℓ	
水成膜泡	0ℓ	メガフォーム、AGF-3T
耐アルコール泡	0ℓ	

消防水利施設	形 式	数 量	構 造	設 置 場 所
消 火 栓	地 下 式	168	基準以上	空港の敷地境界線から500m以内
貯 水 槽	地 下 式	51	40m ³ 以上	空港の敷地境界線から500m以内

消防活動に関する相互応援協定（関西国際空港）

関西国際空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	関西エアポート株式会社、 泉州南消防組合管理者
関西国際空港消防相互応援協定	関西エアポート株式会社、大阪市、堺市、高石市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、和泉市、忠岡町、大阪狭山市、泉州南消防組合管理者
大阪府下広域消防相互応援協定	大阪府下43市町村（27消防本部）
「大規模特殊災害における広域航空消防応援実施要綱」（昭和61年5月制定）の活用	

医療救護等に関する協定（関西国際空港）

関西国際空港医療救護活動に関する協定	関西エアポート株式会社、 一般社団法人泉佐野泉南医師会
	関西エアポート株式会社、 一般社団法人岸和田市医師会
	関西エアポート株式会社、 一般社団法人貝塚市医師会
関西国際空港及びその周辺における航空機事故に対する応急救護活動に関する協定	関西エアポート株式会社、 日本赤十字社大阪府支部
航空機事故に係る医療救護活動に関する協定	関西エアポート株式会社、 地方独立行政法人りんくう総合医療センター
航空機事故に係る遺体の身元確認等に関する協定	関西エアポート株式会社、 一般社団法人大阪府歯科医師会
関西国際空港における医療救護活動に関する協定	関西エアポート株式会社、 地方独立行政法人堺市立病院機構
	関西エアポート株式会社、 医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院
	関西エアポート株式会社、 近畿大学病院

消防資機材等保有状況(関西国際空港)

1 関西エアポート株式会社

車両の種別等	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火薬剤 積載量(ℓ)	粉末消火薬剤 積載量(kg)	放射能力水・ 薬剤/分(ℓ)	備 考
空港用化学消防車	5	12,500	800	300	6,000	大型化学高所放水車
	1	—	2,000		水:3,800 泡:3,400	
給 水 車	2	8,000	240		3,000	
救 難 照 明 車	1					
救 護 車	2					日産CIVILIAN
泡原液搬送車	1		4,000			
医療資器材 搬 送 車	1					トレーラー
資 材 搬 送 車	2					
指 揮 車	1					
現場調整車	1					
排水ポンプ車	4					60㎡×1、30㎡×3

化学消火薬剤	数 量	備 考
A B C 粉 末 剤	3,480kg	消防本所倉庫に備蓄
水 性 膜 泡	8,100ℓ	

消防水利施設	形 式	数 量	構 造	設 置 場 所
消 火 栓	地 下 式	18	吐水1口 内径2.5インチ	制限区域内
貯 水 槽	地 下 式	62	RC造り	制限区域内(滑走路脇、ターミナル沿い)

2 泉州南広域消防本部

車両の種別等	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火薬剤 積載量(ℓ)	粉末消火薬剤 積載量(kg)	放射能力水・ 薬剤/分(ℓ)	備 考
化 学 消 防 車	1	2,300	1800 1900(うち100がポリタンク)		3,000	V 型
	1	1,550	280 290(うち40がポリタンク)		2,000	II 型
タ ン ク 車	1	2,000	100(ポリタンク)		2,800	A-1
	2	2,000	120(ポリタンク)		2,000	A-2
	1	1,500	60(ポリタンク)		2,000	A-2
	1	1,400	40(ポリタンク)		2,000	A-2
スモールタンク車	2	900	40(ポリタンク)		2,000	A-2
	5	800	120(ポリタンク)		2,000	A-2
ポ ン プ 車	2		60(ポリタンク)		2,000	A-2
救 助 工 作 車	2					Ⅲ型×1 II 型×1
救 急 車	13					
	1					大型救急車
は し ご 車	2					15m×1 30m×1
	1					屈折20m
水 槽 車	1	10,000				
指 揮 車	2					
そ の 他	29					

化学消火薬剤	数 量	備 考
界面活性剤	2,230ℓ	車両及び消防署備蓄合計
水 性 膜 泡	7,820ℓ	車両及び消防署備蓄合計
た ん ぱ く 泡	860ℓ	車両及び消防署備蓄合計

消防水利施設	形 式	数 量	構 造	設 置 場 所
消 火 栓	地 下 式	92	1口	空港島全体
	地 下 式	12	2口	
貯 水 槽	地 下 式	94	RC造り 一部FRP	空港島全体

消火救難に関する協定（八尾空港）

八尾空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	八尾空港事務所、八尾市
八尾空港及び陸上自衛隊八尾駐屯地並びにその周辺における航空機事故等に係る消火救難協定	八尾空港事務所、 陸上自衛隊八尾駐屯地

消防資機材等保有状況(八尾空港)

1 八尾空港事務所

車 両 の 種 別 等	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火薬剤 積載量(ℓ)	粉末消火薬剤 積載量(kg)	放射能力水・ 薬剤/分(ℓ)	備 考
空港用3000立級化学消防車	1	3,000	200	150	3,000	
空港用6000立級化学消防車	1	6,100	400	200	4,500	

化学消火薬剤	数 量	備 考
B C 粉 末 剤	300kg	消防車両積載を除く(車庫ビット内に保管)
水性膜泡 (薬剤庫に保管)	1,755ℓ	3% 消防車両積載を除く

消 防 水 利 施 設	形 式	数 量	構 造	設 置 場 所
消 火 栓	地 下 式	9	吐水1口:八尾市消防水利施設	空港道路
貯 水 槽	地 下 式	7	40m ³	空港内

2 八尾市消防本部

車 両 の 種 別 等	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火薬剤 積載量(ℓ)	粉末消火薬剤 積載量(kg)	放射能力水・ 薬剤/分(ℓ)	備 考
化 学 消 防 車	1	1,500	640	6	2,000	
タ ン ク 車	1	1,500	80	6	2,000	
	2	1,500	100	6	2,000	
	2	1,500	200	6	2,000	
	1	2,000	200	6	2,000	
	3			6		
ポ ン プ 車	3	600		6		
	2	900	60	6	2,000	
救 助 工 作 車	1			6		
救 急 車	9			3		
は し ご 車	1			6		
指 揮 車	2			3		
特 殊 車 両	1	900	40	6	2,000	
	3			6		
そ の 他	9			3		

化学消火薬剤	数 量	備 考
スーパーフォーム	3,260ℓ	
メガフォーム	1,960ℓ	

3 陸上自衛隊八尾駐屯地

車 両 の 種 別	保有台数	水タンク 積載量(ℓ)	泡消火剤 積載量(ℓ)	粉末消火剤 積載量(ℓ)	放射能力水・ 薬剤/分(ℓ)	備 考
救 難 消 防 車	2	7,600	1,100	250	2375/4750LPM (低回転/高回転)	放射距離:70~78 m ターレット
		4,800	480	120	1350/2700LPM (低回転/高回転)	放射距離:60m ターレット
救 急 車	1					7名(ベット2床)

化学消火薬剤	数量	備考
たん白泡	3370ℓ	格納庫備付
A B C 粉末剤	51kg	格納庫備付 6kg × 2 3kg × 13
水性膜泡	240ℓ	救難消防車備付 (PFOS含有なし)

消防水利施設	形式	数量	構造
消火栓	地上式	5	2口 65A
プール		1	25m × 15m × 1.4m

(様式1)

林 野 火 災 対 策 資 料

都道府県 _____ 市町村 _____

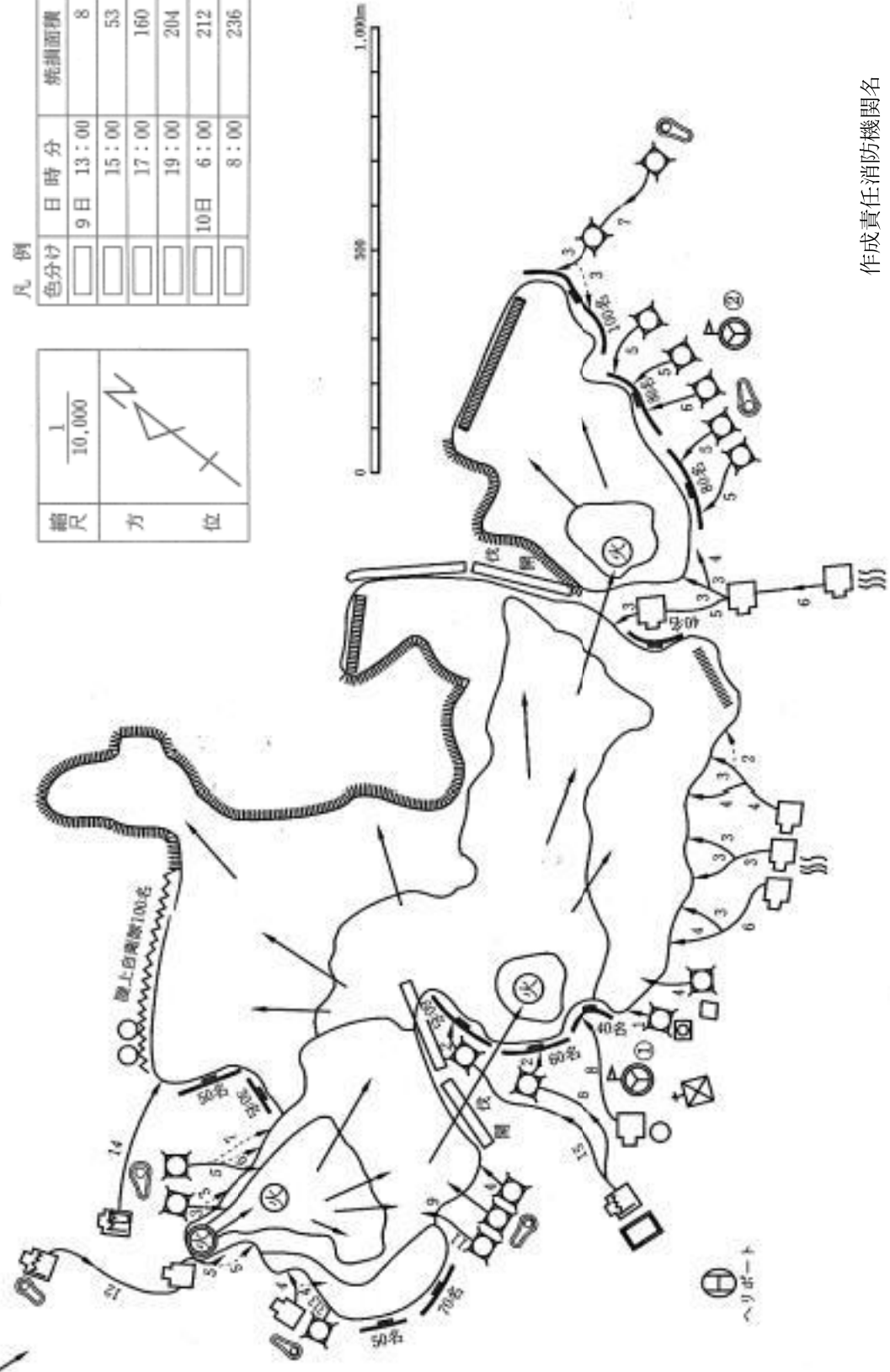
出火日時		年月日時分		出火場所		市(区) 町 村		原因の詳細:	
発見日時		月 日 時 分		発見者 年齢・性別		歳 男・女		発見当時の状況:	
発見日時		月 日 時 分		発見方法					
鎮圧日時		月 日 時 分		先着消防 到着日時		月 日 時 分		発火源 経過 着火物	
鎮火日時		月 日 時 分		放水開始 日時		月 日 時 分		出火原因 コード番号 内容	
出火時の気象状況									
観測日時:		日 時 分		観測場所:		火元の位置		火元及び周辺の状況	
天気		相対湿度		%		斜面方位		森林種別 制・害	
風向		実効湿度		%		傾斜		人 天 別	
平均風速		m/sec		最終降雨日からの日数		日 斜面長		樹 種	
最大風速		m/sec		過去1ヶ月間の降雨量		mm		林 齢	
気温		℃		事前10日間の降雨量		mm		樹 高	
予報の 発令日時		乾燥注意報		月 日 時 分		その他参考事項:		死 傷 者	
		火災警報		月 日 時 分				区 分 死者 負傷者 理由 出	
		強風注意報 (その他)		(月 日 時 分)				人 人 人 人 人	
								計 人 人 人 人 人	
損害状況		区分		面積		損害額		焼損棟数	
国 有 林		ha		千円		焼 損 棟 数		り 災 害 数	
都道府県 有 林		ha		千円		焼 損 棟 数		全 損 棟 世帯	
市町村 有 林		ha		千円		焼 損 棟 数		半 損 棟 世帯	
私 有 林		ha		千円		焼 損 棟 数		小 損 棟 世帯	
原野及び牧野		ha		千円		焼 損 棟 数		り 災 害 数 人	
計		ha		千円		焼 損 棟 数		焼損床面積	
その他(建物、機械等)				千円		焼 損 棟 数		焼損床面積	

世 臣

○○○村○○地区林野火災動態図作成例

出火日時 平成〇〇年〇月〇日〇〇時〇〇分

鎮火日時 〃 〇日〇〇時〇〇分



作成責任消防機関名